



主な内容



3～6ページを、抜き取ってご使用ください

ごみ収集日程表 (10月～3月)

ごみの分け方・出し方

発行／名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 ✉ pr@city.nabari.mie.jp 🌐 http://www.city.nabari.lg.jp

現状と課題

市内の公共施設の約47%は昭和40～50年代に建てられたため、古い施設から老朽化の進展にに応じて、順次大規模改修や建て替えが必要となります。今後40年間で必要となる公共建築物とインフラ（道路、橋など）を合わせた更新費用について試算した結果、総額で2184億円になり、1年当たり平均で約55億円が必要となります。これは、平成22～26年度の過去5年における投資的費用の1年当たりの平均額である約26億円の約2倍に当たります。

また、今後は人口減少や少子高齢化による歳入の減少、社会保障費の増大などから、維持更新費用

市民の皆さんの
意見を反映する

パブリックコメント

条例や市の重要な計画などを
素案の段階で市民に公表し
意見を求め、提出された
内容を考慮して決定を
行う制度です

公共施設を考える

名張市公共施設等総合管理計画 素案

ご意見をお寄せください

計画期間 平成29～58年度の30年間

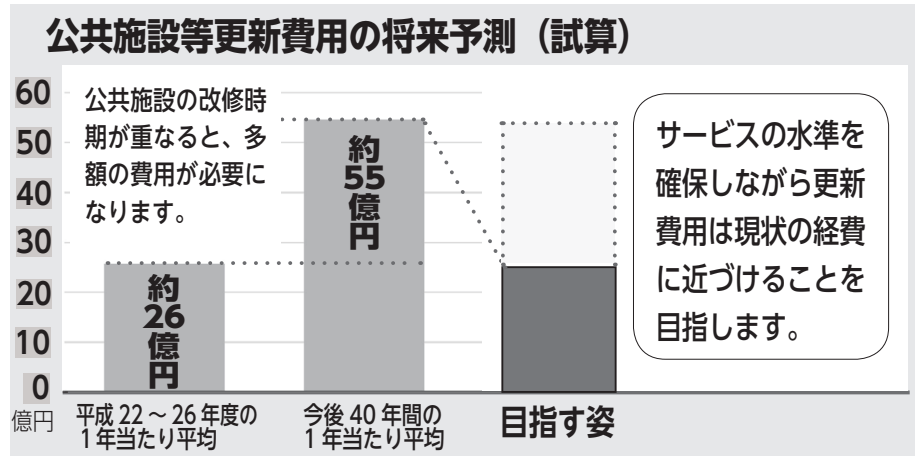


これらの課題を踏まえ、中長期的な視点から公共施設などを計画的に維持管理する必要があるとします。そこで、下記に掲げる基本方針を設定し、直近5カ年の投資的経費における1年あたりの平均額である約26億円に近づけることを目標として、取り組みます。

今後、市民の皆さんに理解が得られるサービス水準を確保しながら、次世代に負担を残さない公共施設などの有効活用の実現を目指します。

この確保はより困難な状況になると予想されます。

これからの公共施設の在り方



市がこれまで建設してきた公共施設などは、約半数が築30年を経過し老朽化が進んでいます。市は長期的な視点から施設の更新・統廃合・長寿命化に取り組みながら、将来にわたって市民の理解が得られるサービスを確保しなければなりません。

そこで、既存の公共施設などを有効活用するため、「公共施設等総合管理計画」の素案をとりまとめましたので、これに対する皆さんからのご意見を募集します。

☎ 行政改革推進室 ☎ 63・7302

- ### 公共建築物の基本方針
- ◇ **原則として新たな建築物は建造しない**
長寿命化や資産を効率よく管理・運用することで、既存施設を有効活用する。
 - ◇ **施設の集約や効率化を図る**
施設を更新する場合に、市民ニーズや人口構成を検証しながら、類似した施設の集約化や複合化のほか、民間施設を活用するなど、効率化を図る。
 - ◇ **適正な運営管理の推進**
管理経費の縮減など、施設運営に係る費用を最適化する。

- ### インフラ施設（道路など）の基本方針
- ◇ **適切な維持管理の推進**
施設の劣化や損傷の具合など、各施設の状態把握に取り組む。
 - ◇ **施設の長寿命化、維持管理経費の削減**
施設の損傷が軽微な段階において、予防的な修繕をすることで長寿命化に取り組む、維持管理経費を減らしたり、短期的に財政負担を集中させない。

ご意見の提出方法・提出先

素案は、市ホームページ、または、各市民センター、市役所1階案内、2階行政改革推進室でご覧いただけます。「公共施設等総合管理計画（素案）に関する意見」と記入し、素案に対するご意見、氏名、住所、電話番号を書いて次のいずれかの方法で送付してください。

- ◇ 電子メール gyokaku@city.nabari.mie.jp
- ◇ ファクス 61-0815
- ◇ 郵送 〒518-0492 鴻之台1-1
- ◇ 直接持参
- ◇ 意見募集期限 10月4日

＜提出先＞ 行政改革推進室（※秘書広報室でも受付をします）